

恵寿総合病院の取組について



社会医療法人財団董仙会

恵寿総合病院

Keiju Medical Center

恵寿総合病院概要



- 病床数：一般 426床
- 診療科：24科
- 職員数：729名（常勤医師66名、看護師334名）
- 平均在院日数：16.3日
- 病床稼働率：87.1%
- 1日平均外来患者数：約800名
- 年間手術件数：3,500件 内視鏡件数：10,000件
- 施設基準：
(財)日本医療機能評価機構認定病院
基幹型臨床研修指定病院
石川県地域がん診療連携協力病院
開放型病院
救急告示病院
在宅療養後方支援病院
DPC対象292床、7:1看護
総合入院体制加算・事務補助加算算定
回復期リハビリ病棟Ⅰ 47床
地域包括ケア病棟47床
障害者病棟40床



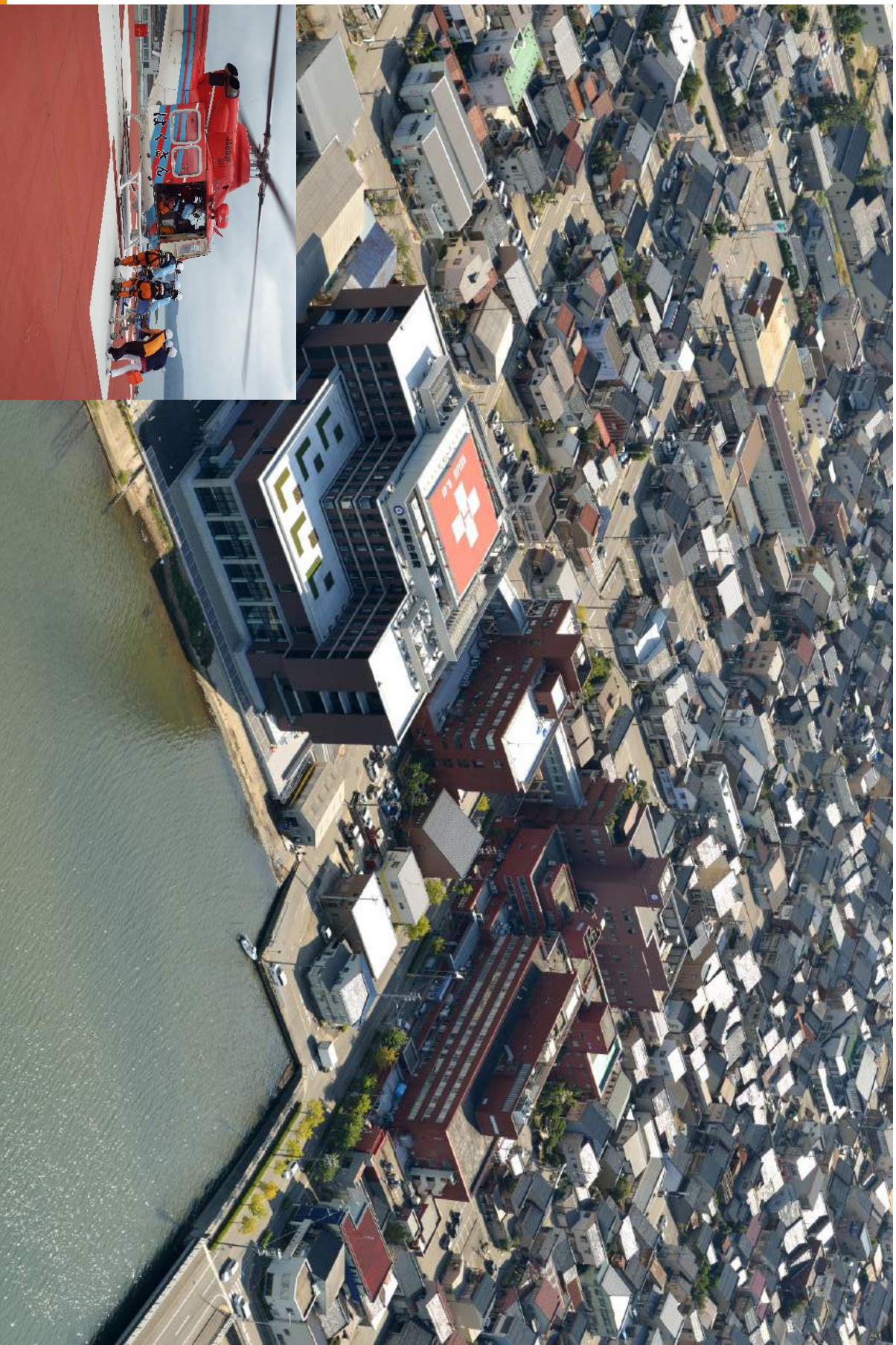
外来患者数800人/日 入院患者数370人/日

区分		2011年	2012年	2013年
外来	延べ患者数	199,165	197,846	192,713
	1日平均	820	811	793
	延べ患者数	143,153	141,304	133,326
入院	1日平均	373	370	348



24時間365日、患者を受け入れられる

県内で唯一 夜間発着可能な病院へリポート。インフラも屋上に配置



地域のための災害拠点としての貢献

恵寿総合病院 地域防災訓練の実施

2014年9月6日(土) 9:00～11:00



想定災害

能登沖地震発生（震度6強）、津波警報発令（津波の高さ2.5m）

防災訓練の概要

1. 訓練場所：本館4階屋上 防災広場
集合場所：本館正面玄関前 シーサイドホール

2. 対象：参加予定人数
病院職員 60名 地域住民 30名
(桜町、富岡町、魚町 合計)

3. 訓練内容：
病院職員 対策本部設営訓練（防災テント）、
避難誘導訓練、消火訓練、
非常食試食

地域住民 避難訓練、消火訓練、非常食試食



脳卒中・循環器病

脳血管疾患・循環器疾患等に対して、外科治療および薬物・カテーテル治療を含めた内科治療を速やかに安全に実施します。

さらに早期からのリハビリテーションの充実、栄養部門との連携による総合的な治療を実施します。



がん治療

内科系・外科系・放射線治療・緩和ケアなどの医療チームにより集学的治療を実施します。特に内視鏡手術により侵襲の少ない治療を積極的に行っております。

また外来化学療法室やがんサロンを備えます



リハビリテーション

能登地区で唯一のリハビリ専門
医と63名のリハビリ療法士が全
科の患者さんに必要なリハビリを
提供しています。

脳卒中による片麻痺患者さんの
リハビリには歩行分析、治療的電
気刺激や部分免荷などの先端機
器も利用しています。

脳卒中および、膝、股関節術後
などのリハビリはクリニカルパス
に沿って能登地区唯一の回復期
リハビリ病棟で365日休まずリハ
ビリを施行しています。



けいぶサービスセンター

地域連携、医療福祉相談、そして
けいぶヘルスケアシステム全体の
予約やスケジュール管理を行う
電話センターとしてコールセンター
が1カ所以上に集まりサービスセン
ターとしての業務を行っています



その他恵寿総合病院の活動事項等

- ✓へき地医療への貢献
能登北部地区の診療所へ医師の無償派遣(2007～)
- ✓血液内科(白血病)医師の常駐
- ✓教育機関への出前授業・実習活動
中学校のわくわく体験、高校への出前授業、インターンシップ
- ✓市民公開講座(ヘルスアップセミナー等)



社会貢献事業の例 出前授業



14/8/19 七尾高校



14/11/20 小丸山小学校



地域貢献活動の例

地元企業とのコラボレーション

メテイカルツーリズム

一泊ドックの方は和倉温泉に宿泊していただき、ゆったりとした雰囲気の中で健診を受けることができます。

中国・台湾・香港の中華圏への知名度向上と誘客活動に参加しています



石川県和倉温泉海が一望できる

宿丹鳳園

—じゆん—



一本杉商店街 介護施設と健診と地域活性化



デイサービス、ショート
ステイ、ヘルパーST
+ 交流ホール

小規模多機能型居宅介護施設
けいびゅー一本杉



2010年
4月1日
オープン



当院の救急受入状況

救急受入れ状況は下記のとおりであり、**各自治体病院の救急車も受入れて**おります。

【消防救急車受入件数※】

	受入 件数	24年度 対比
24年度	一般	1,372
	小児	23
25年度	一般	1,338
	小児	26
26年度	一般	664
	小児	11

※七尾鹿島消防本部以外からの受入れも含む

【病院救急車受入れ件数】

	受入 件数	24年度 対比
24年度	一般	71
	小児	0
25年度	一般	64
	小児	1
26年度	一般	48
	小児	0

【ウオーケイン】

	受入 件数	24年度 対比
24年度	一般	3,430
	小児	1,177
25年度	一般	3,333
	小児	1,331
26年度	一般	1,643
	小児	517

【合計】

	受入 件数	24年度 対比
24年度	一般	4,873
	小児	1,200
25年度	一般	4,735
	小児	1,358
26年度	一般	2,355
	小児	528

*恵寿総合病院は地域の緊急医療体制を補っています。



外来医療機能

※プライマリケアを目的とした家庭医療科を設置
家庭医療科が、出産にもかかわれ、救急も診ている

名称	診療科	場所
A外来 ユニバーサル外来	消化器外科・乳腺外科・内科 消化器内科・心臓血管外科・循環器内科 脳神経外科・神経内科・整形外科 呼吸器外科・家庭医療科※・緩和医療科 リハビリテーション科	本館2階
B外来 専門外来	産婦人科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科 皮膚科・泌尿器科・形成外科・美容外科	本館2階
救急外来		本館1階



当院の医師数・診療科構成

診療科	H23.4.1	H24.4.1	H25.4.1	H26.4.1
消化器外科	6	5	5	5
内科	9	9	9	9
消化器内科	2	2	2	3
心臓血管外科	1	1	2	2
循環器内科	2	2	2	3
脳神経外科	3	3	3	3
神経内科	2	1	1	1
整形外科	2	3	3	3
形成外科	1	1	1	1
産婦人科	2	2	2	5
家庭医療科	1	1	1	2
緩和医療科	0	1	1	1
小児科	2	2	2	2
眼科	1	1	1	1
耳鼻咽喉科	1	1	1	1
泌尿器科	1	1	1	1
皮膚科	1	1	1	1
リハビリテーション科	2	1	2	2
PET-CTセンター	1	1	1	1
健康管理センター	1	1	1	1
麻酔科	2	2	2	2
救急救命科	1	1	1	1
研修医	13	10	9	11
合計	57	53	54	62
七尾市内他施設	2	2	2	2



当院の医師数・診療科構成

- ✓ 救急受入れ体制は救急救命科が担う。
- ✓ 各診療科も医師を確保しバックアップ体制を整えている。
- ✓ 緊急出産時等にも対応できる産婦人科を充実している。
- ✓ 家庭医療科は、出産にもかかわり、救急も診ている。



産婦人科、分娩件数月別推移

産婦人科は、**無痛分娩の実施、院内助産の開設、不妊治療にも貢献**しています。

年度別			月別											
年度	平均	合計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2011	28.50	342	29	26	23	38	28	29	29	31	27	28	28	26
2012	24.92	299	26	29	19	29	26	37	27	19	17	21	28	21
2013	27.42	329	29	26	29	27	27	21	36	25	30	21	36	22

* **不妊治療**は、専門の産婦人科医師と不妊症看護認定看護師を確保し、実践しています。不妊治療指定医療機関は、県内7施設(**能登地区は当院のみ**)
総合病院で上記治療を実施できるのは、県立中央病院、金沢医科大学病院、**当院**の3病院のみです。

* **院内助産施設**は平成26年4月より開設しております。

* 認定麻酔医師による**無痛分娩・除痛分娩**を行っております



2017年10月10日 火曜日 第1000号

お産の現場危機 妊婦にしわ寄せ

突然の受け入れ休止「他へ」
 妊婦は産院に搬送され、手術を受ける。その間に、産院は妊婦の安全を確保するため、手術室や分娩室を確保する必要がある。しかし、産院の設備や医師の人数が不足している場合、妊婦の安全が脅かされる可能性がある。産院は妊婦の安全を確保するため、手術室や分娩室を確保する必要がある。しかし、産院の設備や医師の人数が不足している場合、妊婦の安全が脅かされる可能性がある。

突然の受け入れ休止「他へ」

妊婦は産院に搬送され、手術を受ける。その間に、産院は妊婦の安全を確保するため、手術室や分娩室を確保する必要がある。しかし、産院の設備や医師の人数が不足している場合、妊婦の安全が脅かされる可能性がある。産院は妊婦の安全を確保するため、手術室や分娩室を確保する必要がある。しかし、産院の設備や医師の人数が不足している場合、妊婦の安全が脅かされる可能性がある。

女性医師離れ 食い止め急務

産院は妊婦の安全を確保するため、手術室や分娩室を確保する必要がある。しかし、産院の設備や医師の人数が不足している場合、妊婦の安全が脅かされる可能性がある。産院は妊婦の安全を確保するため、手術室や分娩室を確保する必要がある。しかし、産院の設備や医師の人数が不足している場合、妊婦の安全が脅かされる可能性がある。

専門医以外が補う試み

産院は妊婦の安全を確保するため、手術室や分娩室を確保する必要がある。しかし、産院の設備や医師の人数が不足している場合、妊婦の安全が脅かされる可能性がある。産院は妊婦の安全を確保するため、手術室や分娩室を確保する必要がある。しかし、産院の設備や医師の人数が不足している場合、妊婦の安全が脅かされる可能性がある。

[illegible]

石川県は分娩医の減少率予測全国ワースト



石川県の分娩医減少全国ワースト予測に対応する当院の取り組みが報道されました(2014/12/1NHKおはよう日本)

2014年12月1日 (月)

“産科危機” 広がる地域格差

“産科危機” 迫られる対策は

産科医の負担を減らそうと、新たな取り組みを始めた病院があります。年間300件を超える出産を扱う、石川県七尾市の総合病院です。



妊婦の健診を担当する吉岡哲也さん。
産科医ではなく、「家庭医」と呼ばれる医師です。
家庭医は、内科や小児科、それに産婦人科などの分野で経験を積み、幅広く診療することができます。

この病院では5年前から、吉岡医師に一部の妊婦の健診と出産を任せてきました。



恵寿総合病院 家庭医療科 吉岡哲也医師
「大きな危険性がない妊婦さんに関しては、家庭医が扱うことは特に大きな支障になることはない。」

石川県および七尾市の医療環境について

2010年から2040年の七尾市の予想人口増加率は ▲38.0%であり、75歳以上人口はプラス7.9%である。七尾市は高齢化率が高くなり、**医師、看護師、介護士の増員、高齢者施設の増強などが急務**となっている。

(出所: 国立社会保障 人口問題研究所より)
「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」及び「石川県の将来推計人口(平成25年3月)」

総人口(人数)			指数(2010年を100とした場合)		
年度別	2010年	2025年	2040年	2025年	2040年
石川県	1,169,788	1,096,170	974,370	93.7	83.3
七尾市 (75歳以上)	57,900 (9,406)	46,788 (11,391)	35,880 (10,146)	80.8 (121.1)	62 (107.9)

* 総人口は減少するが高齢者率が高くなり、**医療福祉の充実が不可欠**。



がん予防、早期発見（PET-CT）件数月別推移

当院のPET-CTセンターは癌の早期発見に貢献しています。

能登地区で唯一のPET-CTセンターを2007年に開設しています）

年度別			月別											
年度	月平均	合計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2011	61.67	740	58	56	63	54	60	59	75	75	67	60	57	56
2012	67.67	812	62	54	76	63	76	70	77	77	70	56	67	64
2013	63.58	763	68	55	53	64	84	52	61	62	66	67	60	71

* 石川県内のPET-CT施設保有病院は下記のとおり

県立中央病院、金沢大学付属病院、金沢循環器病院、浅ノ川総合病院、松任石川中央病院、**恵寿総合病院**）

※金沢循環器病院は2014年3月31日をもってPET業務終了



充実した研修体制（看護部の例）

BLSプロバイダー、インストラクター資格を院内研修で取得できます。

BLS : Basic Life Support
(AHA公認 一次救命処置)

ACLS : Advanced Cardiovascular Life Support
(AHA公認 二次救命処置)



ALSO : Advanced Life Support Obstetrics
(ALSO-JAPAN公認 周産期救命処置)

JPTec : Japan Advanced Trauma Evaluation and Care
(日本救急医学会公認 病院前外傷処置)

● 給与の支給

● 入学金・受講料全額支給

● 交通費全額支給



加藤あゆみ
(慢性心不全看護)

黒氏美紀
(がん性疼痛看護)

船山真理子
(慢性呼吸器疾患看護)

認定看護師

山本美保
(慢性呼吸器疾患看護)

小崎幸幸
(救急看護)

高柳由香里
(認知症看護)

片岡京美
(がん化学療法看護)

前浜緑香
(不妊症看護)

川上英孝男
(糖尿病看護)



ワークライフバランス

仕事と生活の調和 (ワークライフバランス)

一人ひとりが生き生きと働き、家庭や地域生活でも充実した時間をもてる。そして、その充実感が仕事にも生かされ、一人ひとりの幸せが増していく。このようなプロジェクトに重仙会も賛同しています。



目指すは、

『いい仕事をしよう!』『いい人生しよう!』
です。

1 フリープラン休暇

勤務年数ごとにまとまった5日～7日の休暇が取れます。

2 短時間正職員

短時間(20時間/週)の勤務でも正職員になります。いつでもフルタイム職員に変更可能です。(退職金・ボーナス有)

3 育児休業短時間勤務

生後3歳まで

4 介護短時間勤務

申し出より3ヶ月以内

